

●世界の主な地震

平成 24 年（2012 年）3 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

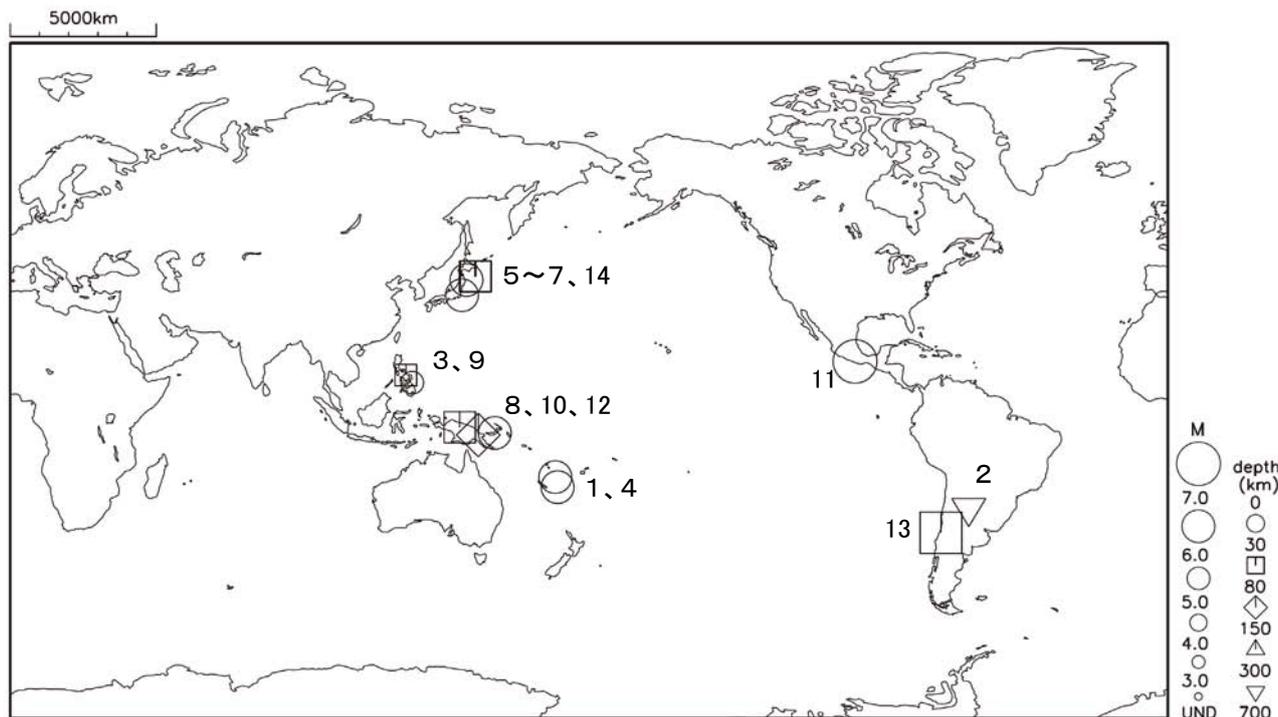


図 1 平成 24 年（2012 年）3 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) 発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

** : 数字は、表 1 の番号に対応する。

***: マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 24 年（2012 年）3 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	印洋	遠地
1	03月03日21時19分	S22° 08.7'	E170° 20.4'	14	6.5	6.4	6.6	ローヤリティー諸島南東方				
2	03月05日16時46分	S28° 13.6'	W 63° 14.5'	550	6.1		6.1	アルゼンチン、サンティアゴデルエステロ州				
3	03月06日08時06分	N12° 21.2'	E123° 42.0'	37	5.2	5.1	5.6	フィリピン諸島、ルソン	負傷者10人、建物被害数棟など			
4	03月09日16時09分	S19° 07.5'	E169° 36.7'	16	6.1	6.7	(6.7)	バヌアツ諸島				○
5	03月14日18時08分	N40° 46.5'	E144° 13.6'	64	6.7	(6.9)	(6.9)	三陸沖				
6	03月14日19時49分	N40° 40.8'	E144° 58.0'	69	5.8	(6.0)	(6.0)	三陸沖				
7	03月14日21時05分	N35° 44.8'	E140° 55.9'	15	5.7	(6.1)	(5.9)	千葉県東方沖	死者1人、負傷者1人など			
8	03月15日06時13分	S 5° 35.7'	E151° 02.5'	28	5.7	6.0	6.2	パプアニューギニア、ニューブリテン				
9	03月16日16時58分	N10° 02.2'	E125° 37.9'	18	5.8	5.3	5.6	フィリピン諸島、レイテ	負傷者55人以上、建物被害数棟など			
10	03月21日02時56分	S 3° 49.2'	E140° 15.1'	66	6.2		6.2	インドネシア、パプア				
11	03月21日03時02分	N16° 32.3'	W 98° 12.9'	20	6.6		(7.4)	メキシコ、ゲレロ州沿岸	負傷者13人以上、家屋被害800棟以上			○
12	03月22日07時15分	S 6° 14.6'	E145° 57.1'	118	6.3		6.6	パプアニューギニア、ニューギニア		○		
13	03月26日07時37分	S35° 10.9'	W 71° 47.5'	35			(7.1)	チリ中部	死者1人以上、負傷者4人など			○
14	03月27日20時00分	S39° 48.3'	E142° 20.0'	21		(6.6)	(6.0)	岩手県沖	負傷者2人など			

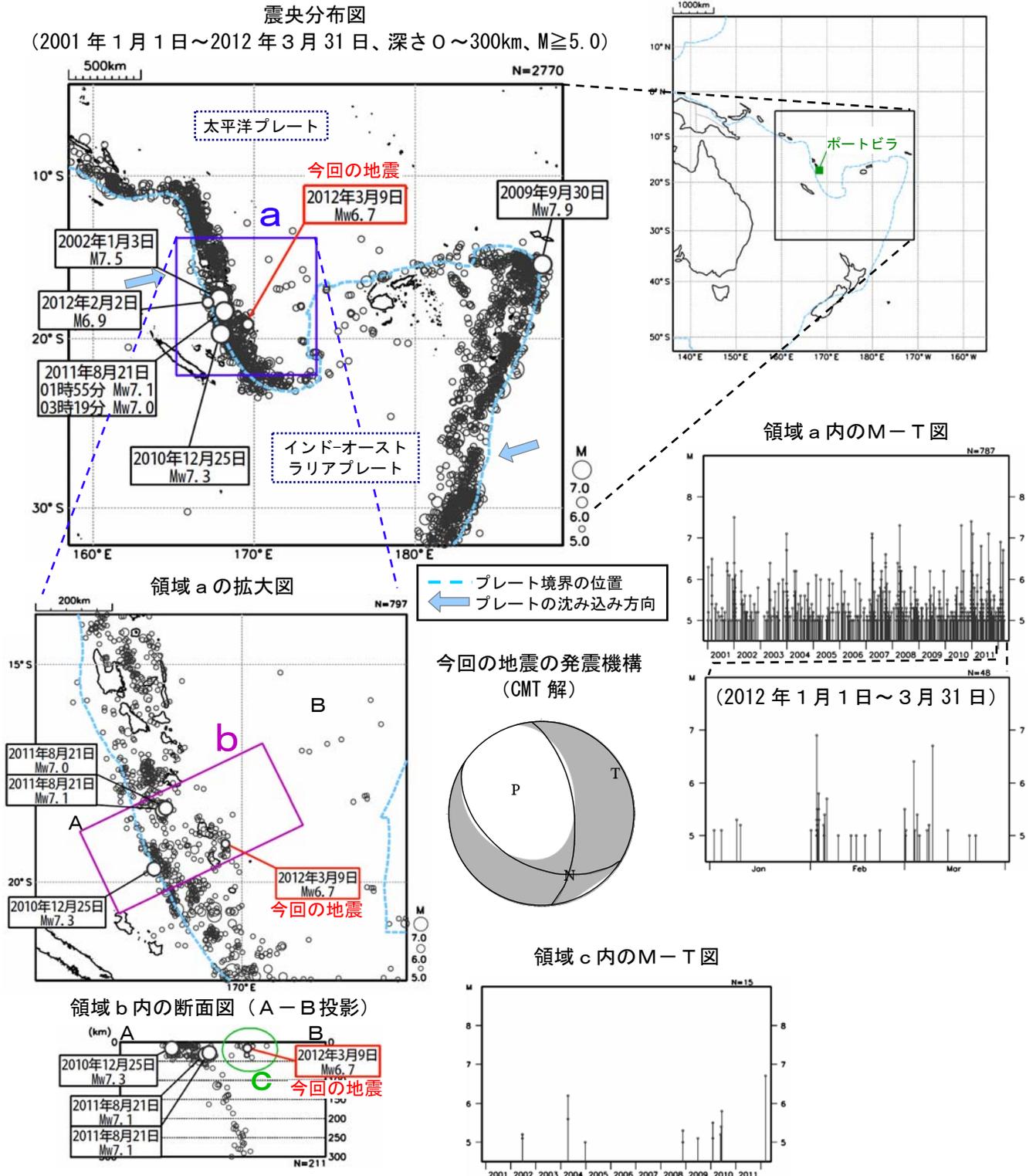
- ・ 震源要素、被害状況等は米国地質調査所 (USGS) 発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による（平成 24 年 4 月 1 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁に、Mw の欄に括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。
- ・ 3 月 26 日に発生したチリ中部の地震の被害はチリ政府の発表による（平成 24 年 3 月 26 日現在）。
- ・ 3 月 27 日に発生した岩手県沖の地震の被害は岩手県および宮城県の発表による（平成 24 年 3 月 28 日現在）。
- ・ 震源時は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- ・ 「北西」、「印洋」各欄の○印はそれぞれ、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA)、及び、インド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報 (TWI) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・ 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

3月9日 バヌアツ諸島の地震

2012年3月9日16時09分（日本時間）にバヌアツ諸島でMw6.7の地震が発生した。この地震は太平洋プレート内で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

この地震について、気象庁は同日16時33分に「遠地震に関する情報」（日本国内向け、日本への津波の影響なし）を発表した。

今回の地震の震央付近（領域a）では、しばしばM7クラスの地震が発生している。最近では2012年2月2日にM6.9の地震が発生した。また、2011年8月21日にはMw7.1の地震が発生し、この地震によりバヌアツ共和国のポートビラで18cmの津波が観測された（津波の高さは米国海洋大気庁[NOAA]による）。



※ 本資料中、CMT解とMwは気象庁による。
その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。

3月21日 メキシコ、ゲレロ州の地震

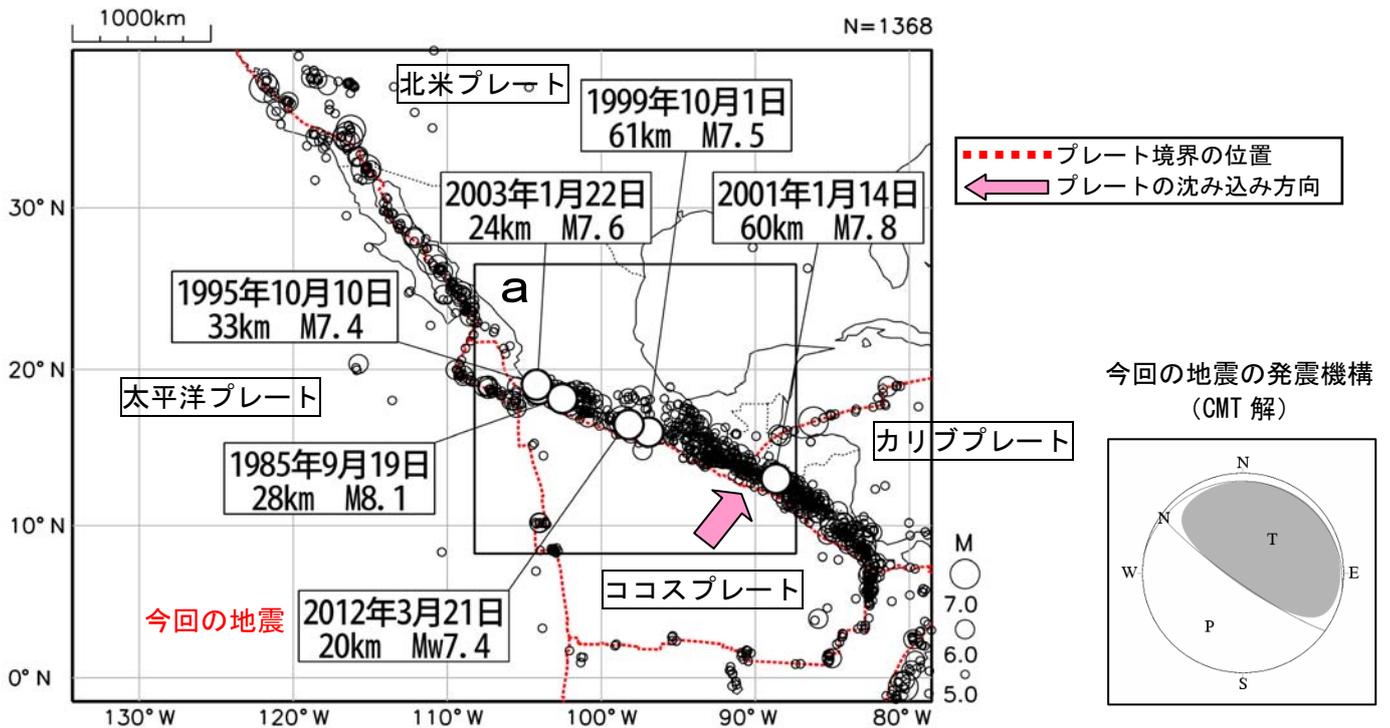
2012年3月21日03時02分（日本時間、以下同じ）に、メキシコのゲレロ州でMw7.4の地震が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、ココスプレートと北米プレートの境界で発生した。

この地震について、気象庁は同日03時31分に「遠地地震に関する情報」（日本国内向け、この地震による津波の心配なし）を発表した。この地震により、メキシコのアカプルコで、0.2mの高さの津波を観測した（4月5日現在、米国海洋大気庁 [NOAA]による）。

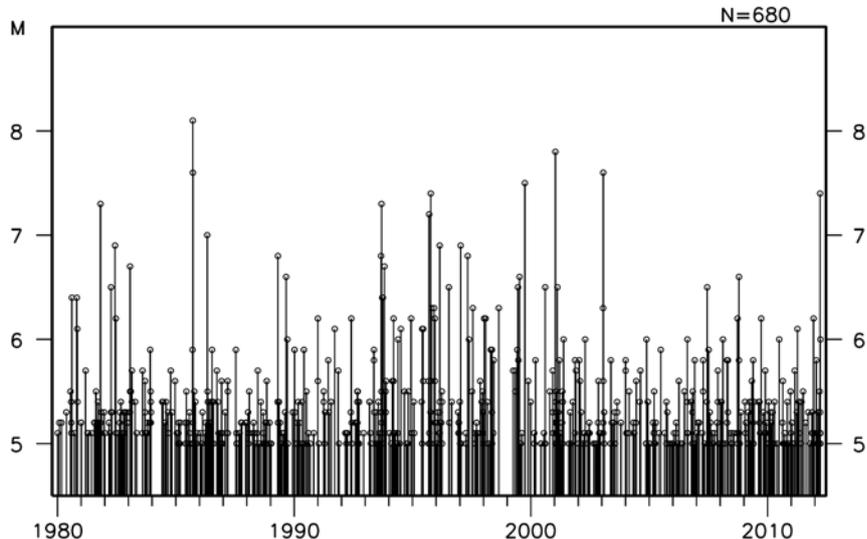
この地震により、負傷者13人、住家倒壊800棟などの被害が発生している（4月1日現在、米国地質調査所[USGS]の資料より引用）。

1980年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では1985年9月19日にM8.1の地震が発生し、死者約9500人などの被害が発生した。この地震では、震央から約400km離れたメキシコシティでも長周期地震動により多くの建物が倒壊・損傷するなどの被害が発生した。（米国地質調査所[USGS]の資料より引用）

震央分布図（1980年1月1日～2012年3月31日、深さ0～200km、M≥5.0）



領域a内のM-T図



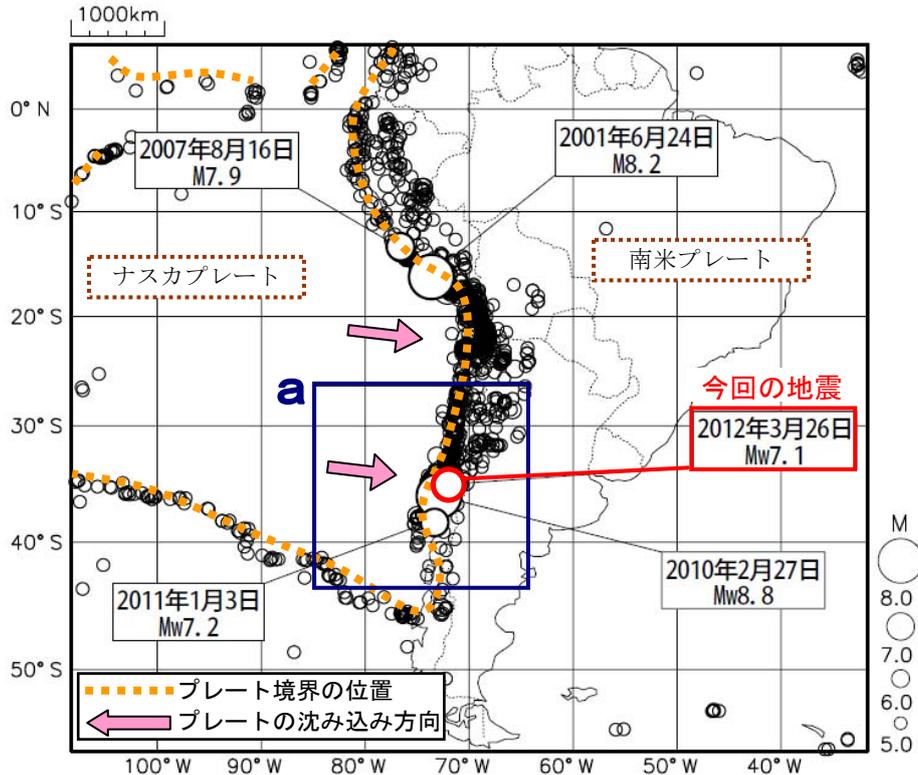
※ 本資料中、CMT解とMwは気象庁による。
その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。

3月26日 チリ中部沿岸の地震

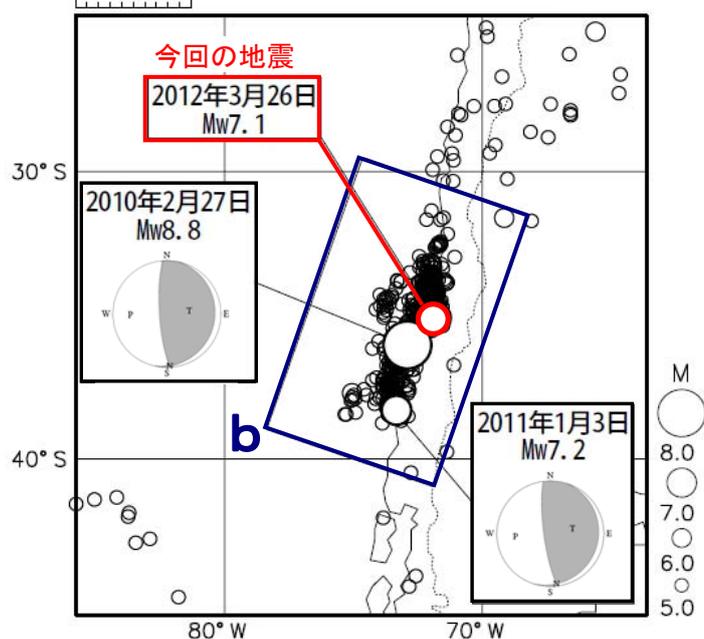
2012年3月26日07時37分（日本時間）、チリ中部沿岸でMw7.1の地震が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、南米プレートと地下に沈み込むナスカプレートの境界で発生した地震である。気象庁は同日08時03分に「遠地地震に関する情報」（日本国内向け、日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、死者1人以上、負傷者4人などの被害を生じた（3月26日現在、チリ政府の発表による）。

今回の地震は、2010年2月27日のMw8.8の地震の震源域において、本震の北側付近で発生しており、この地震の余震と考えられる。今回の地震は、2010年2月27日の地震の余震の中で、2011年1月3日の地震に次ぐ2番目の規模の地震であった。

震央分布図（2000年1月1日～2012年3月31日、深さ0～200km、M≥5.0）

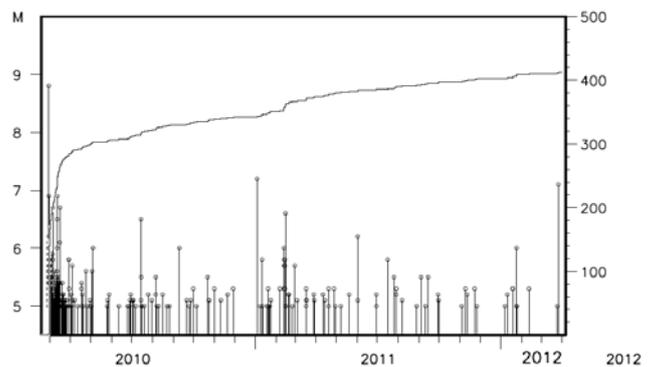


領域 a 内の震央分布図（2010年2月27日～2012年3月31日、深さ0～200km、M≥5.0）

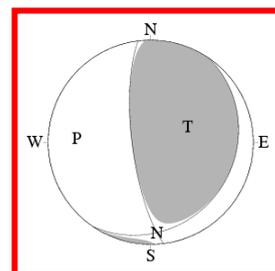


発震機構はCMT解

領域 b 内のM-T図及び回数積算図



今回の地震の発震機構（CMT解）



※ 本資料中、CMT解とMwは気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。